

体育科（保健）学習指導略案

3年1組 32名 指導者

基 永 恵
沖 園 良 介

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 健康（元気）であることについて、グループ活動の中でブレインストーミングの技法を用いて、友達の考えと比べたり、出てきた考えをまとめたりしながら、健康に対する関心を高めることができたか。

1 単 元 毎日の生活と健康

2 指導計画（総時数4時間）

過程	主な学習活動【評価規準】
一 次 (本時)	1 健康の状態について、自分の生活を振り返りながら、課題を見つける。 【態：健康の状態について、いろいろな姿を発表しようとしている。】 【知：健康の状態について、心や体の具体的な様子を書き出している】
二 次	2・3・4 毎日を健康に過ごすための方法について調べる。 (1) 健康によい1日の生活 【知：健康に過ごすには、1日の生活リズムに合わせて、食事、運動、休養及び睡眠をとることが必要であることがわかる。】 (2) 体の清潔と健康 【態：手や足などの清潔、ハンカチや衣類などの清潔を保つことが必要であることを理解し、自分の課題を解決しようとしている。】 (3) 健康によい環境 【知：健康に過ごすには、生活環境がかかわっており、部屋の明るさの調節や換気などの生活環境を整えることが必要であることが分かる。】 【思：自分の生活を見直すことを通して、生活環境を整えるために自分でできることに気付かせ、実践する意欲をもつことができる。】

3 本 時（1／4）

(1) 目標

健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解できるようにする。

(2) 評価規準

心や体の調子がよいなどの健康の状態は、主体の要因や周囲の環境の要因がかかわっていることがわかる。 【知識・理解】

(3) 指導に当たって

つかむ・見通す過程では、第三学年から始まる体育科の保健領域の保健について、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善し、健康な生活を送る資質や能力の基礎を培うことを知る。「のびるくん」を探せゲームを行うことで、子どもたちの健康に対する関心を高め、めあてを焦点化できるようにする。また、健康の状態について、多くの考えを引き出すための方法として、ブレインストーミングの技法を用いることを紹介し、そのよさや留意点を説明して、子どもたちの活動意欲を高めるようにする。

深める過程では、「のびるくん」はどんな人だろうということについて、ブレインストーミングの技法を用いて行い、グループ毎に肯定的な雰囲気の中で意見をたくさん出せるようにする。次に、ブレインストーミングで出された意見を、これまでの生活経験から得た知識を元に可視化できるように付箋紙を操作し、小見出しを付けるなどして分類・整理する。さらに、グループの意見をまとめることで学び合いを充実させ健康の状態について理解が深まるようにする。

振り返る過程では、体の調子や生活の様子、気持ちの状態などに整理し、健康の状態とは、心と体の調子がよい状態であることを理解できるようにする。養護教諭の専門性を生かして、担任と連携しながら課題を追求していくことで、健康についての知識・理解を深め、これからの生活に生かしていけるようにする。

過程	時間	主な学習活動と指導の手立て・評価
つかむ・見通す	10	1 体育の保健学習について知る。 〔 ・体育の時間に、保健の学習があるのか。 ・どんなことを学習するのかな。 〕 2 「のびるくん」を探せゲームをする。 3 めあての確認をする。 健康とは、どんな状態のことなんだろう。 4 学習の進め方を確認する。 〔 ・ブレインストーミングでたくさんの考えを出したいな。 ・友達の考えを知りたいな。 〕 イラストから「のびるくん」を見つける「のびるくん」を探せゲームをして、その理由を発表することで、元気と健康を関連できるようにする。 ブレインストーミングの4つの留意点について説明をする。 ○ 批判やコメントはしない。 ○ できるだけ多くの考えを出す。 ○ 友達の考えを参考にする。 ○ 合っているか合っていないかは関係ない。
		5 グループで、「のびるくん」とはどんな人だろうをブレインストーミングを用いて行う。 〔 ・外で遊ぶ子。 ・ご飯を好き嫌い無く食べる子。 ・早寝・早起きしている子。 ・よく運動をする子。 ・歯みがきする子。 ・友だちと仲よくする子。 ・学校を休まない子。 ・何でもがんばる子。 ・明るい子。 〕 ブレインストーミングの技法を用いて、生活経験で得た知識や聞いたことなどを、付箋を使うことによって意見を分類したり、整理したりできるようにする。 ※ 自分の考えを表したり、友達の考えを聞いたりして、健康とは、どんなことでありどんな状態であるか理解できる。 (観察) ○ 理解が深まった子どもには、称賛し、健康に生活しようとする意識を高めることができるようにする。 ○ 理解が深まらない子どもには、視覚的に意識できるように図等を用いて明確に確認できるようにする。
深める	30	6 各グループで、出された意見に小見出しを付けてなかまわけする。 〔 ・好き嫌いをしないとよく食べるは、なかまにしよう。 ・手洗い・うがいと歯みがきは同じかな。 ・友だちと仲よくするは、どのなかまかな。 ・外で遊ぶと運動をするは、同じなかまじゃないかな ・元気って、病気をしないことだけじゃなさそう。 〕
振り返る	5	7 発表して出た理由をもとに、健康とはどんなことかまとめる。 健康とは、病気をしないだけでなく、友だちと仲良くでき、心や体の調子がよいことである。 本時の学習での活動や気づきを価値付けし、これからの生活に意欲的に生かせるようにする。